

自己評価結果票

グループホームゆたかの郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営				
1.理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	だれでもご自分のお家が一番安心して生活して行けるという事、認知症を患っても、少しの支援があれば充分、自分で生活出来るという事を職員全員が認識している。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、ミーティングを行い、ささいな事でも、すべてについて、共有している。全員が知っている事。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族との関係をよりよいものにするため、連絡を密にしており、誰でもお家が一番、安心して、暮らししていけるという事を、語りかけている。		
2.地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	管理者は、ホームが自宅であるため、近所づきあいを大切にしており、職員も笑顔で接している。近所の子供さん達も遊びに訪れて、一緒にお茶を飲んだりして過ごす事もある。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	代表者は、地域の役員を毎年引き受けており、管理者は地域のふれあいネットワークの運営委員である。		
	事業所の力を活かした地域貢献			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	1月9日、楓荘(いこいの家)で、地域のふれあいサロンを開催し、入所者および職員と、地域の方々30名で、食事会をし、余興を楽しんだ。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	何気なく日々を送るのではなく、評価する事が刺激策となっている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	朝のミーティングで会議の内容を説明、報告し、どの様にすれば、向上するかを話し合い、サービスの向上を目指している。		
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事務手続き等の他、入所者の手作り作品を届けたり、行事の写真をそえて手紙を出し、様子を伝えている。作品は市役所なりに飾ってもらっている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	学びの機会を設けていない。		現在迄は必要性はない(なかった)が、必要な場合に備え、学ぶ機会を持ちたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	人権を尊重し、家族を思い、和やかな気持ちで、共に支えあって生活している。		
4. 理念を実践するための体制				
	契約に関する説明と納得			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、十分に説明をしており、今迄、解約についてもトラブルは発生していない。		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が自由に電話をかけたり、ご自分でかけられない方は、ダイヤルしてあげており、例えば、おみかんを、自室で食べたい方には自室で食べてもらっている。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回は、手紙や写真を送っている。問題が発生した時には、必ず電話で報告を行っている。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等への、機会を設ける事が少ないが、あった場合は運営に反映させている。		ご家族へは意見、不備、苦情を述べていただく書面を郵送する様検討中です。
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝のミーティングや日々の業務の中で常に、共有する事を基本としている。 知的障害の職員さんと管理者は、毎日、交換日記を設けている。大学ノートで3冊目です。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員3名が主婦であり、母親でもある。 急な休みの時等、管理者は気持ちの良い返事をしている。管理者は、自分でも同じような道を歩んで(働いて)来ている為、職員の気持ちが理解出来る。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	移動はない。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	知的障害者の方は、一昨年、一般のヘルパー2級を取得、研修も受けた。 内部においても、パーキンソン病の方がおり、進行が早く、対応が困難になっている為、主治医に講師となっただき、全員で勉強をしている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	声かけは行っているが、実行されていない。		今後はネットワークを作り勉強会等を行いたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	常に職員の体調には留意し、声かけや伺いをしている。 ストレスを軽減する為、会話をしたり、全員での外食などの機会を設けている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員に、感謝の念をいただいております。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人が安心できる様、最善の努力をし、何でも言える様な体制を取っている。 夜間は不安が増す為、寄り添い、必要な時は、添い寝する事もあります。		
	初期に築く家族との信頼関係			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人同様、ご家族に対しても、安心して頂ける様、懸命な、努力をしています。		
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時、先ず、悩みや希望をお聞きし、良かった！と、ほっとされる様、真剣に対応している、		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームの空気に馴染んでいただける様、本人の性格等の観察を第一にしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	喜怒哀楽を共にするという気持ちで接しないと、介護者は、入所者の方々と良い関係は築けない！と実感しております。		
28	利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	ご家族から電話をいただいたり、電話をかけた時は、つつみ隠さず、状況を説明し、ご家族の大切な、お母様方であるという気持ちを持って、対応している。		
29	利用者や家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者や家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の言葉の中で、ご家族に対して、喜ばしくないような点については、フォローし、より良い関係が築ける様、配慮している。		
	馴染みの人や場との関係継続の支援			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームとしてのあいさつ状をお送りし、本人には、電話が可能な方には、かけてお話しいただき、手紙をいただいた場合は、必ず、お礼の電話をし、本人も、話す様にしている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い方とは、隣同士に座っていただき、談話が出来様、配慮している。 目の悪い方には、声かけで、助けていただける工夫をしている。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所されたご家族から年賀状をいただいたり、相談の電話をいただく事もある。 入院して亡くなられた方の妹さんからは、何回も手紙をいただき、感謝されておられる。 それについては、返事を出している。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の表情も含め、よく観察し、本人の希望や意向を取り入れる様努力している。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族からの情報を得、支援センターなどからの情報収集に努力している。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員同士、情報を共有し、よく観察する事に依り、現状を、よく見る努力をしている。		
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
	チームでつくる利用者本位の介護計画			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全てのご家族と、話し合いが持てない。		ご家族の都合で計画作成担当者と直接話しする機会が持てていないが、出来る限り電話でも話し合いが出来る様に進めています。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現状に即した見直しを行っている。 又、適切な対応が出来る様 努力し、その計画を作成している。		
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員すべてが記録できる様にしており、計画作成担当者は、その記録を参考に、介護計画の見直しに活用している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事前に、ご家族の要望をお聞きしていても、その時々々に応じ、病院への送り迎えをしたり、外泊等にも柔軟に対応しています。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	警察署との協働はしていません。		ご家族や利用者の意向や必要性があった場合、対応して行きたい。
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	以前利用しておられた宅老所への誘いがあり、本人が旧友との交流を望んでおられる為、ご家族の希望もあり利用出来る様にしています。		
	地域包括支援センターとの協働			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
42	利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの方は、運営推進会議にはおいでいただいておりますが、項目については協働していません。		利用者やご家族等の意向や必要性があった場合は対応したいと考えています。
43	かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族がお連れするかかりつけ医と、事業所は関係がうすく、ご家族に任せている。		今後はご家族任せではなく、事業所も関係を築いて行く様にしたい。
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の専門医との関係を築いていない。		認知症の専門医との連携を図れる様、対応したいと思います。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回月に4回の訪問看護を実施しており、気軽に相談しており、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した時は、こまめに病院を訪れ早期退院に向けあらゆる努力をしている。 入院の準備は全てホームで行っている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かねてから全員で話し合い、その人なりの対応について全員で方針を共有し、ご家族共話し合いかかりつけ医と密接に連絡を取り入れている。		
	重度化や終末期に向けたチームでの支援			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	毎日のミーティングで対応を協議し、本人が安心して一日を送れる様かかかりつけ医と共に、全員で本人を支援している。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の施設へ移る場合は事前に下見を行い、情報交換を行い、環境の変化に依る本人への負担を最小限に食い止める努力をしている。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1.その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを守る努力をしており、個人情報の取り扱いには注意をしている。		
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	全員で言葉使い(声かけ)に配慮し「しましょ うか!」等の働きかける工夫を日常的に行っている。		
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に添った支援ではなく、職員側の都合が優先している。		職員がゆったりとした気持ちで本人のペースを大切に する様話し合いました。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
	身だしなみやおしゃれの支援			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみについては十分に支援しております。美容院はご本人がわからないと言われますので、ホームの近くの美容院にお連れしています。		
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る事はその人その人に依っていただき、代表者、管理者も朝、夕一緒に食事をし、お昼は全員と一緒にいただき片付けも全員でしています。		
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入所時、異食があった方もおやつを常時自室に置いてあげる事となりました。出来る方には、状況に応じて楽しんでいただいております。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄記録をきちんと管理(全員で)し、チームとしてトイレ誘導に取り組んでいる。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	真冬は行けませんが、温泉にも全員で出かけ入浴を楽しんでいます。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	疲れて夕方眠らない様、昼食後は、自室で昼寝やくつろいでもらっている。その為、夜間の徘徊が少ない。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
	役割、楽しみごと、気晴らしの支援			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	編物の好きな方には次々と毛糸を買って来て、編んでいただいている。その為本人は生き生きとした日々を送っておられる。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	8名の内4名の方が所持しておられ、その人その人に依り、手助けをしている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気の良い日は出来るだけ近隣の散歩や、いこいの家迄出かけ、そこでコーヒー等を飲んで休憩して戻って来られる。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族の希望があった場合等は、車で送り迎え等をして大いに出かけられる様、支援している。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があればいつでも電話をかけられる様にしている。かけておられる。出来ない時は手助けをしている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族や知人等の訪問が多く、ゆっくりと過ごしておられ、喜んで下さっています。		
(4)安心と安全を支える支援				
	身体拘束をしないケアの実践			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全員が身体拘束はしないという気持ちでありますし、しておりません。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者の自宅でもある為、日中は近隣の方も来られる為、鍵はかけません。居室には鍵はついていません。		
67	利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	徹底して取り組んでおります。心の眼は常に入居者の方全員に届いております。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	家庭的なホームを目指している為、注意をしながら、例えば、裁縫の出来る方は針とハサミを自室で使っていただき、使用後は片付けに確認をしています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	当ホームは階段がある為、転落の危険がある為、歩行の不安な方については、見守り、介助を必ず行っている。手すりも必要に応じ増やしている。		
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	代表者と管理者は上級救急救命士を取得し、全ての職員に、応急手当や初期対応の訓練を行っている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を行い、夜間は代表者と管理者は自宅である為2人で対応している。(常に心がけている)近隣の方へは、日頃から助けて下さる様お願いしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族とは電話等で十分な話し合い、報告等を行い、対応について話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	色々な変化については、ささいな事でも管理者に伝えるような態勢をとっており、全員が共有し、早めの対応をする様にしている。		
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明をよく読み、薬について理解を深める様にしている。服薬は間違いの無い様、支援しており症状の変化に注意している。		
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘をなくする為、せいい質の食材を多く使う様な工夫をし、身体を動かす様、全員で取り組んでいる。テレビ体操、掃除、散歩、下肢体操、室内レク階段昇降。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声かけ、見守り、介助等、その人に応じた対応を行い、毎食後の口腔ケアを行っている。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重の変化に留意し、8名中5名の方がペットボトルのお茶を用意した物を自室に置き、水分補給している。3名の方については確保出来る様、支援している。(全員の方も)		
	感染症予防			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは全員、早目に予防接種を行い入浴は週に3回行い、毎食前とおやつの前は手洗い、消毒を徹底している。外出から戻られたら手洗い、うがいの励行している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	冷蔵庫を過信しない様にし、早めに食材を使い切る様にしている。台所の衛生管理も行き届いている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	代表者は自宅でもあり、庭園管理士の資格を持っており、植木の手入れもきちんとしている。いつもきれいですね!と近隣の方達も声かけして下さっている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家改造型のホームである為、家庭的な雰囲気が出ていると思う。熱帯魚が泳いでおり、入所者は泳ぎを楽しんでおられる。調度品も家庭のそのままである為、居心地がよい。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	天気の良い日はベランダから町並みが見渡す事が出来、冬は陽だまりで日光浴をしながら、語らったりしている。リビングではソファに掛けテレビをみながら歓談している。		
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お仏壇を持ち込んでおられる方は、朝、夕お祈りをされている。それぞれに好みの物を手許に置いておられる。(ぬいぐるみや置時計、写真たて)		
	換気・空調の配慮			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	グループホームゆたかの郷 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇を細めに使う様にしている。温度計を常に気にかけ、暖房で室温が上がり過ぎないようにしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	あらゆる所に、手すりを取り付け、クローゼットの中の服はハンガーに掛けて選びやすくしている。衣装ケースには説明書きをしてある。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の入口には、名前とご本人の写真を飾っており、居室間違いを防いでいる。トイレもわかり易い様に字を書いたり、アコーディオンドアにしてある。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ホーム庭には、草花が四季折々に咲いており柿の木もベランダから届く所にある。夏場は菜園にミニトマトが鈴なりでもいで食べる方もおられる。(楽しみの一つでした)ベランダでは外気欲、日光浴を楽しんでいます。		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

1)外部から入って来られた時、異臭がしないようにあらゆる面に気を付けています。 2)入所者のかたの整容(髪、衣服、爪、お顔の色艶、口臭など)